第２回道の駅整備検討委員会

日　時　令和元年 11 月７日（火）
10 時 00 分から
場　所　議会棟４階委員会室

次　　第

１.あいさつ

２.議　　題

（１）報告事項

道の駅現地視察の実施報告について

（２）検討事項

①道の駅の候補地選定の考え方について　【資料①】

候補地の抽出、候補地の絞り込み

②ニーズ調査の方法について　【資料②】

調査方法、調査内容

③整備コンセプトについて　【資料③】

整備コンセプトの検討項目

④今後の検討スケジュールについて　【資料④】

（３）次回検討委員会について

①第３回道の駅整備検討委員会における検討事項について

②開催予定について

（１）報告事項

道の駅現地視察の実施報告について

道の駅の整備に係る基本構想及び基本計画の策定の参考としていただくため、5月 20 日に野田市道の駅整備検討委員会委員による先進地の視察を実施しました。
視察箇所につきましては、当該委員会の委員となっております加藤委員が駅長を務めていた千葉県南房総市の「道の駅　とみうら枇杷倶楽部」の現地視察をはじめ、道の駅木更津「うまくたの里」他2カ所の見学を行いました。

1　日時　　令和元年5月20日（月）午前9:00～
2　場所　　別紙　日程表のとおり　委員8名、事務局2名参加
3　内容

（1）道の駅とみうら枇杷倶楽部の施設概要について（50 分）

加藤委員（元道の駅とみうら枇杷倶楽部駅長）

【説明テーマ】

① 道の駅ありきでなく、その地で地域振興に欠けている機能は何なのか。
② 道の駅の機能のバランスと「とみうら枇杷倶楽部」が果たす地域の役割について
③ 最小限の自社製造と委託製造
④ 道の駅「プラットフォーム」　　についてそれぞれ説明を受けました。

【説明要旨】

まず、その地域で地域振興に欠けている機能を見つけ出し、その機能を道の駅に持たせるべきだと考える。来訪者にあわせた広域情報の発信は重要となる。当道の駅は、南房総市の情報発信基地としての役割をはたしており、他の4つの道の駅の赤字もカバーしている。道の駅の経営には、観光客の平準化を念頭にした経営が必要となる。びわ製品は自社でも、その他は委託にしている。多品種を継続するには有効である。そうすることで、経営を効率化し、当駅のように最初は小規模でも、少しずつ拡大している。

道の駅に機能はなくても、市内にある施設を紹介する機能などをもてば、情報が集中してくる情報拠点となる。

【その他】

道の駅は、資金の規模で最低限のものからスタートする方法もある。
JA は関わっていない。
観光の情報発信の経費は相当かかっているが、今後絶対必要な機能と考える。

（2）施設見学　以下の2施設を見学しました。

●道の駅「保田小学校」　　廃校利用、宿泊あり
●道の駅木更津「うまくたの里」　民間経営

【とみうら枇杷倶楽部】

ショップ、レストラン、ギャラリー、軽食コーナー、休憩所がコンパクトにまとめられている。レストランにはテラス席（屋外）もあり、脇を流れる小川越しに菜の花畑が見え、南房総をいう土地柄を印象付けている。

５７８千人
（Ｈ２９聞き取り）

【保田小学校】

廃校となった保田小学校を、「都市交流施設・道の駅 保田小学校」として整備された。

６００千人
（推定）

【木更津うまくたの里】

2017 年 10 月にオープン！瞬く間に人気スポットとなった木更津市初の道の駅「うまくたの里」は、木更津きっての名産品・ピーナッツを全面に推したエンタメ空間が話題で、数多くのメディアの取材がある。

2000千人
（推定）

名称	所在地	登録日（開駅日）	タイプ	隣接道路	敷地面積 ㎡	駐車場				トイレ		
						面積	普	大	障	男	女	障・多
とみうら	南房総市	H5.4（H5.11）	単独	国道127	8,600	3,200	65	15	4	10	8	1
保田小学校	鋸南町	H27.4	単独	県道34	14,353		104	5	2	13	9	2

資料１

■道の駅の候補地選定の考え方について

【道の駅の候補地を選定の配慮事項】
〇駐車場を含めてある程度**大きな面積が得られること**、**交通量のある道路に面していること**は、まず最も重要な条件と考えられる。
〇その上で交通安全の確保に費用がかかりすぎないこと、浸水のリスクがないこと、住宅への影響がないことなどへの配慮が求められる。

1　敷地選定の選定フロー

(1)候補地の抽出（14～16 カ所） → (2)候補地の絞り込み（3～4 カ所） → (3)庁内協議による候補地の選定

（１）候補地の抽出
・[redacted]
・[redacted]

（２）候補地の絞り込み
・[redacted]
・[redacted]
・これらの評価を数値化して優先順位を決めて絞り込みを行う。

【重要な指標】

交通条件	集客	交通量が多いこと。 主要道路との交差点にあること。 敷地近傍で施設にアプローチできる右折信号があること。
	交通安全	信号機を増やさないこと（渋滞を助長しない）。 道路の規格に応じて、信号間隔を確保すること。
	集荷	日常的に農産物を運んでもらえる立地であること。
土地条件	面積確保	駐車場面積を確保できること。 拡張の余裕があること。
	ハザードマップにおける浸水予測の有無	ハザードマップにおいて浸水が予測されていないこと。 浸水実績がないこと。
	開発計画	開発計画との調整が必要ないこと
周辺条件	景観	眺望や景観に優れていること。
	周辺への影響	周辺が住宅地ではないこと。

【全ての指標】

①交通条件

■太字ゴシック：重要な指標

指標	内容
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted] [redacted]
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]

②土地条件

指標	内容
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]

③周辺条件

指標	内容
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]
[redacted]	[redacted]

（３）総合評価による候補地の選定

・(2)において絞り込んだ３から４カ所の候補地において、概算事業費を算出するなどして、総合評価を行う。庁内協議によって重視する条件を見極め、候補地を１カ所に選定する。

資料２

■ニーズ調査の方法について

【ニーズ調査の必要性】
〇基本計画に市民の意見を反映させるためにニーズ調査を行なう。
〇道の駅における産物の提供可能性、新たな産品の開発可能性等について把握する。
〇様々な視点で道の駅に求められる機能について把握する。

１　調査方法

・今年度中に以下の２種類の調査を行う。
・農業関係者のヒアリングを受けて、次年度に農家（畜産含む）に対するアンケート調査を実施する。

（１）地域団体アンケート調査

目的	様々なテーマを持って活動している地域団体の道の駅に対するニーズを把握。
対象者	市民活動支援センター等に登録している団体から抽出する。
調査方法	郵送配布、郵送回収（返信用封筒は料金後納）でアンケート調査を実施。
実施期間	令和●年●月●（●）～●月●日（●）
配布数	約 100 部

（２）ヒアリング調査

目的	道の駅に関わりのある団体・有識者等の方々に道の駅のあり方に対する意見を伺う。
対象者	道の駅に関係する可能性のある団体（下記）
調査方法	対象者の指定する場所に伺い面談して１時間程度ヒアリングを実施。
実施期間	令和●年●月●（●）～●月●日（●）

〔ヒアリング対象〕

商業関係者	野田商工会議所
	野田市関宿商工会
	野田市観光協会
	飲食業関連団体等
農業関係者	ちば東葛農業協同組合
地元企業	●、●、●（今後抽出）
工業団地関連	野田市工業団地連絡会
防災関連	野田市消防団等
大型トラック関連	千葉県トラック協会野田支部
	野田関宿トラック事業協同組合

２　調査内容

（１）地域団体アンケート調査（調査票としてのレイアウトは未）

野田市では、現在、道の駅の整備について検討を進めております。

その中で交流拠点としての活用も考えておりますことから、是非、アンケート調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

〔団体の概要〕

団体名称〔　　〕会員数〔　　〕

主な活動場所

市内全域／市外／市内の特定の場所（関宿地区／二川・木間ケ瀬地区／川間・北部地区／東部地区／野田地区／南部・福田地区）

〔回答者の属性〕

性別（男／女）　年齢（20 歳未満／20 代／30 代／40 代／50 代／60 代／70 歳以上）

〔道の駅へのニーズについて〕

１）道の駅ができた場合、会の活動で利用する機会はあると思いますか。

あると思う／ないと思う／場所による／わからない

２）道の駅を利用する機会が「ないと思う」とお答えになった方にお聞きします。
どのような理由でないと思われるのでしょうか。

決まった活動拠点があるから　その他〔具体的に：　　〕

３）道の駅を利用する機会が「あると思う」とお答えになった方にお聞きします。
どのような利用を想定されますか。

会議の場として利用／レクリエーションの場として利用／会本来の活動として利用〔具体的に：　　〕／その他〔　　〕

４）どのような施設があれば道の駅で活動をすることができますか。

会議室・多目的ルーム／作品の展示場所／舞台／スタジオ（防音・姿見等）／子育て支援施設（じゅうたんを敷いた部屋等）／調理室／食品加工施設／チャレンジショップ／イベント広場／バリアフリー／体験農園／その他〔　　〕

５）どのような設備があれば道の駅での活動をすることができますか。

スクリーン／音響設備／プロジェクター／車いす／電動車いす／キッチンカー／かまど／大鍋など調理道具／バス停留所／その他〔　　〕

6）道の駅に対する希望や意見を自由にお書き下さい。

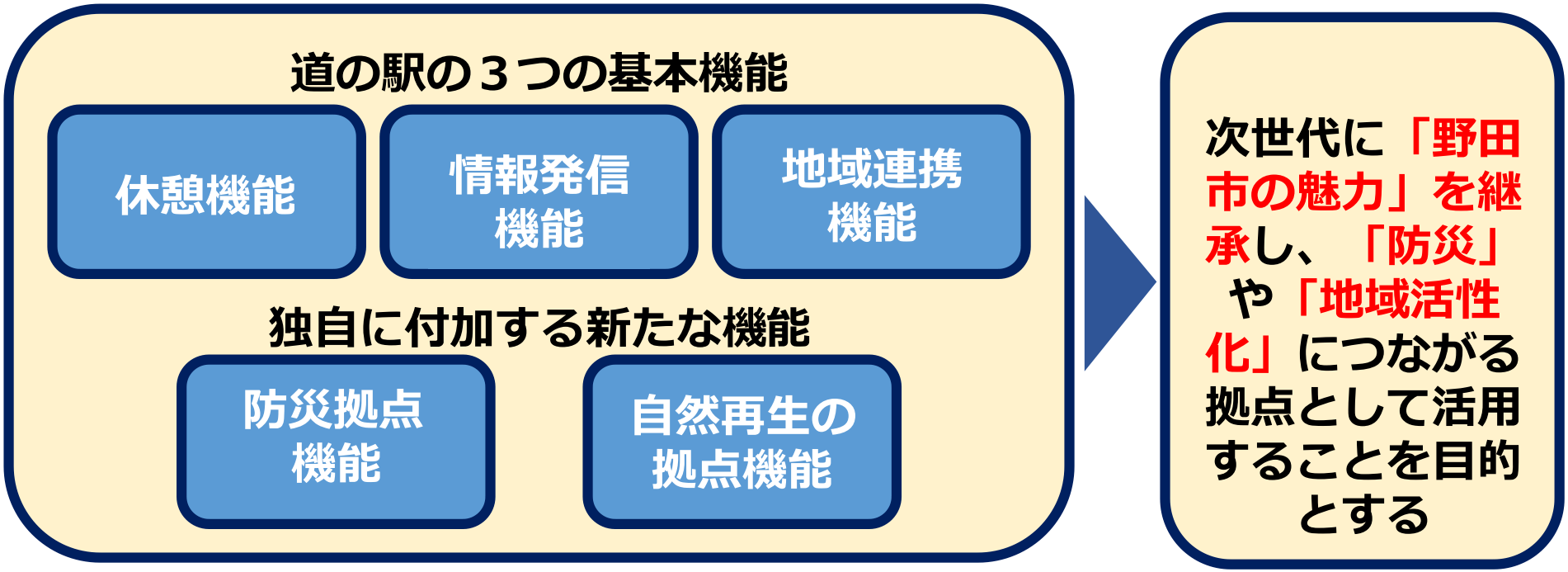
（２）ヒアリング調査

対象者	質問内容
野田商工会議所 ・野田市関宿商工会	・商業事業者の出店意欲 ・有力な事業者 ・道の駅の運営への関与の可能性 ・道の駅の担い手の候補 ・人気商品 ・新たな商品開発の可能性・取り組み状況
野田市観光協会	・道の駅で提供することが有効な観光情報 ・観光協会の道の駅への入居可能性 ・道の駅発着の有料ツアー展開の可能性（農家での収穫体験、近代化産業遺産巡り、農家めぐり＋バーベキュー等） ・ツアーの担い手のイメージ
飲食関連団体等	・商業事業者の出店意欲 ・有力な事業者 ・道の駅の運営への関与の可能性 ・道の駅の担い手の候補 ・人気商品 ・新たな商品開発の可能性・取り組み状況
ちば東葛 農業協同組合	・生産者の出荷意欲 ・出荷量（潤沢に供給できる産品とそうでない産品） ・人気産品 ・新たな農畜産加工品の可能性・取り組み状況 ・直売の仕組み（委託販売、買い取り･･･） ・施設内外における農業体験の可能性・担い手 ・新規就農・移住への取り組み ・次年度実施する農業生産者へのアンケート調査票案への意見
地元企業	・参加意欲 ・参加形態 （例）指定管理、テナント（レストラン、カフェ、物品販売）等 ・単独施設展開・共有施設利用
工業団地関連	・道の駅への関与の可能性 （商品出荷、ＰＲコーナー等）
防災関連	・防災上道の駅に期待される役割・必要な施設・設備 ・防災拠点としての立地場所選定のポイント ・消防署や避難所との近接性の重要性
大型トラック関連	・大型トラックが利用しやすい道の駅のポイント ・望ましい立地場所 ・大型トラックドライバーが道の駅に求める機能

資料３

■整備コンセプトについて

１　道の駅整備の目的



「道の駅」の整備については、「休憩機能」、「情報発信機能」、「地域連携機能」の３つの基本機能に「地域防災の拠点機能」、そして野田独自のブランドとして「自然再生の拠点機能」を加え、互いの魅力を共感し、高めあい、野田市の魅力発信に総合的、積極的に取り組むことにより、次世代に「野田市の魅力」を継承し、「防災」や「地域活性化」につながる拠点として活用することを目的とします。【基本構想より】

2　野田市の「強み」と「弱み」

強み	弱み
①安全で豊かな農産物（枝豆、米‥）と 畜産物（牛乳、卵、豚肉）と畜産加工品（チーズ、ジェラート‥） ②醤油のまちとして全国的な知名度（醤油産業と産業近代化遺産のある歴史的町並み） ③活動的なNPO・ボランティア団体の存在 〇交通量の多い国道16号 〇農・畜産体験ができる場の存在 〇豊かな自然（水辺・里山・生態系） 〇NODA産FOODフェスタの定着 〇利根川舟運の歴史 〇充実したレクリエーション施設やスポーツ施設 〇市内に鉄道駅が６か所 〇16号沿いの工場群と人気のある工場見学 〇サイクリングロードの充実 〇江戸期以来のせんべい 〇4年生大学の存在 〇豊かな景観（田園風景・水辺風景） 〇レトロな雰囲気の商店	④駅が拠点になっておらず来訪者の拠り所がない（駅や町中に観光案内所がない） ⑤醤油のまち以外の知名度がのある観光資源・特産品の不足 〇国道16号の慢性的な渋滞 〇国道16号の休憩施設、トイレ不足 〇国道16号利用者の防災施設不足 〇農家の高齢化 〇歩行者・自転車の空間不足 〇不十分な宿泊施設・飲食施設 〇大型トラック率が高い国道16号 〇バス、タクシーの不足 〇利根川・江戸川に橋が少なく、茨城県、埼玉県からのアクセスが弱い 〇東京からのアクセスが弱い

3　道の駅のコンセプトとターゲット

（１）野田市の「強み」を活かす　　①豊かな農畜産物を活かす

■コンセプト	野田市のおいしくて新鮮な農畜産物が味わえる道の駅
■キャッチフレーズ	「野菜王国のだ」、「ファーマーズタウン野田」 「アグリパーク野田」、「野田ファーマーズマーケット」 「ファームパーク野田」、「おいしさの里」
■ターゲット	○新鮮でおいしい農産物を求める地域外の来訪者 ○せきやどミルクを用いたおいしいスイーツを求める地域外の来訪者 ○地域の主婦の日常的利用
■施設イメージ	○品数豊富で新鮮な農作物直売所 ○サラダや野菜を使った総菜バイキング ○せきやどミルクを使ったスイーツやクリームチーズの販売 ○さくらポークや野菜のバーベキュー ○さくらポークのソーセージやハムの販売 ○新たな産品を開発・販売する加工所

黒酢米

たまご

御用蔵醤油

野田煎餅

さくらポーク肉まん

醤油スイーツロールケーキ

クリームチーズ

せきやどミルクジェラート

②「醤油のまち」の知名度を活かす

■コンセプト	醤油のまちの歴史・文化が感じられる道の駅
■キャッチフレーズ	「醤油のまち」、「むらさきの里」、「ひしおの里」、「麹の里」
■ターゲット	○「醤油のまち」の知名度に惹かれて訪れる域外の来訪者 ○「醤油を使ったおいしいもの」を期待して訪れる域外の来訪者 ○醤油醸造の歴史に興味を持って訪れる域外の来訪者
■施設イメージ	○醤油を使った様々な料理を提供するレストラン ○醤油醸造の歴史紹介 ○様々な醤油を使用した産品の販売・開発 ○手焼き醤油せんべいの実演販売 ○しょうゆスイーツの販売 ○醤油の味くらべ

しょうゆ
ソフトクリーム

生しょうゆうどん

しょうゆ味くらべ

せんべい焼き体験

手作りみたらし

③市民活動の場として活用する

■コンセプト	地域の内外の人との交流が楽しめる道の駅
■キャッチフレーズ	「交流センター野田」、「ふれあいの里」、「こうのとりセンター」
■ターゲット	○道の駅を拠点として活動するボランティアやNPO ○アートや料理など趣味の体験活動に参加する人 ○子育て世代のお母さん ○貸し農園を楽しむ人
■施設イメージ	○多目的室・調理室　○ギャラリー ○子育て支援・キッズルーム　○貸し農園 ○地域交通拠点

調理実習室
（道の駅やちよ）

陶芸棟
（道の駅くめなん）

キッズルーム（道の駅
パレットピアおおの）

クラインガルテン栗源
（道の駅くりもと）

（２）　野田市の「弱み」を克服する

④来訪者にとっての「まちの玄関口」をつくる

■コンセプト	野田市を訪れる人をお迎えする道の駅
■キャッチフレーズ	「野田ツーリストセンター」、「野田インフォメーションセンター」「野田ゲートウエイ」、「ウエルカムセンター野田」、「コンシェルジュ野田」
■ターゲット	○野田を訪れる幅広い来訪者
■施設イメージ	○コンシェルジュ窓口（農畜産物や産品、自然や歴史の魅力の紹介） ○道の駅を起終点とした着地型ツアー（醤油のまち歴史めぐり、農村散策、工場見学、収穫体験、自然体験等） ○サイクリング拠点　○インターネットによる情報発信

町のインフォメーションセンターに特化（道の駅せら）

道の駅発着の水陸両用車によるツアー（道の駅湯西川）

歴史まちあるき（むらさきの里ガイド）

落花生等のオーナー（道の駅栗源）

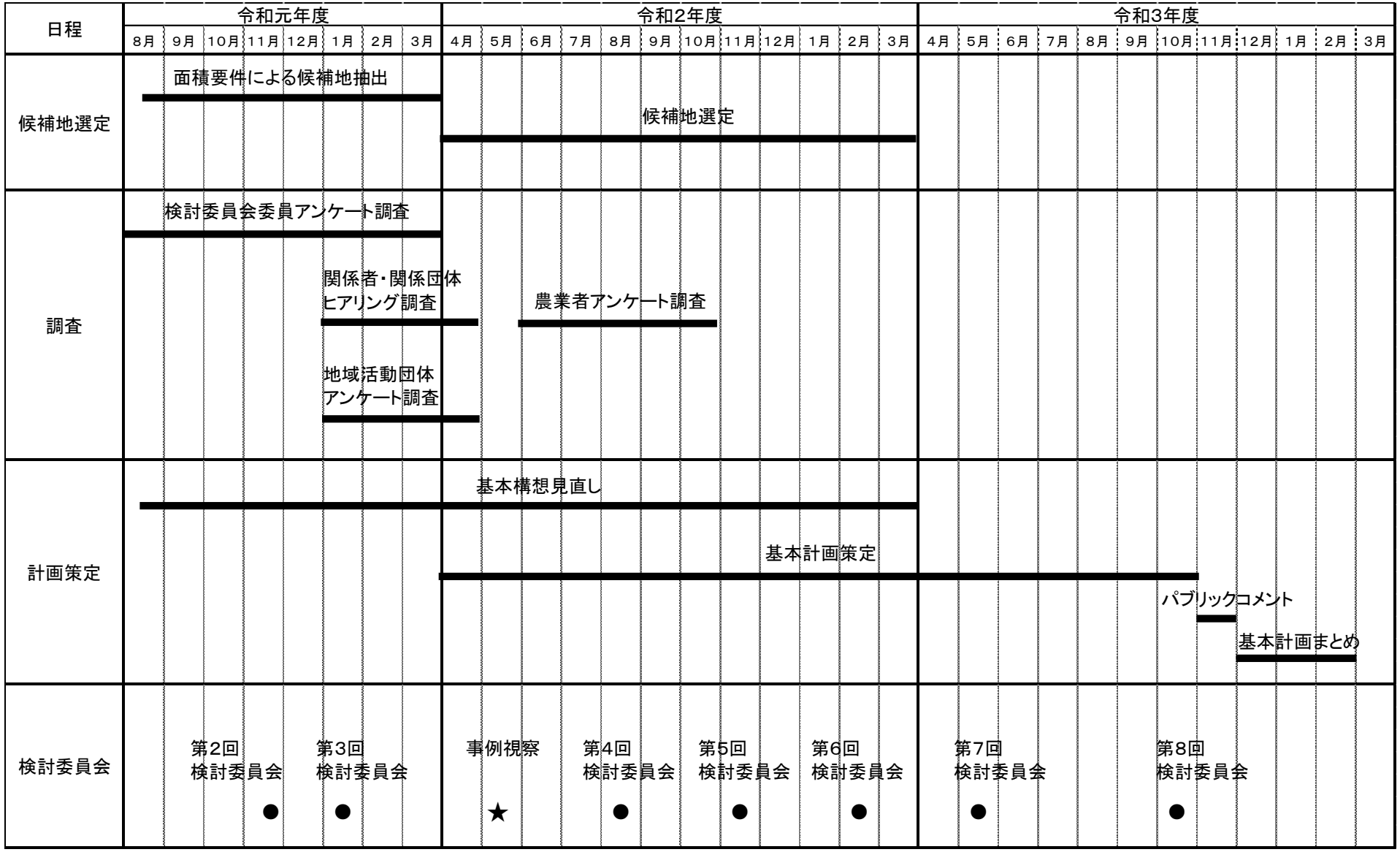
⑤ALL野田を紹介するショールームとする

■コンセプト	野田市の魅力をあますところなく伝える道の駅
■キャッチフレーズ	「ショールーム野田」、「アンテナショップ野田」、「野田見本市」「メッセ野田」、「野田展示場」
■ターゲット	○野田を訪れる幅広い来訪者
■施設イメージ	○野田の新鮮な農畜産物の直売所 ○野田の特産品を活かした料理を味わえるレストラン ○野田の特産品を購入できる売店 ○野田のスイーツを味わえるカフェ ○野田の魅力を伝えるギャラリー・デジタルサイネージ ○枝豆まつり・フードフェスタ等のイベント ○ネットショッピング

物産直売所（道の駅いとだ）

資料４

■整備の検討スケジュールについて



※スケジュールは事業の進捗状況により変更する可能性があります。

参考資料１

■道の駅資料

■じゃらん道の駅ランンキング 2018（調査：2018.9/21～9･27）

1.　伊東マリンタウン（静岡県）	多彩なショップ＆グルメ（海鮮のっけ丼、花チーズ）、海の見える温泉に足湯
2.　新潟 ふるさと村（新潟県）	酒・米・魚などの特産品、伝統工芸品等販売、郷土料理（新潟5大ラーメン、へぎそば、番屋鍋、寿司等）、ジオラマ
3.　富士吉田（山梨県）	富士山の景観、吉田のうどん、信玄ソフトクリーム
4.　川場田園プラザ（群馬県）	新鮮野菜、独自商品を求め年間 120 万人が集結　直売所、ソーセージ専門店、焼きたてパン店やレストラン
5.　もてぎ（栃木県）	ゆず塩ラーメン、ゆずバウム、ＳＬ見学ポイント、防災館
6.　ららん藤岡（群馬県）	上州牛すきやき・ビーフシチュー、神津牧場ジャージーソフトクリーム、トマトジュース、遊園地
7.　日光（栃木県）	体験型ミュージアム（船村徹ミュージアム）も楽しい、便利なマチナカの道の駅、金谷ホテルの食パン
8.　日立おさかなセンター（茨城県）	ココでしか買えない魚介、漁師が営む食事処、味勝手丼（市場で具材を購入）、浜焼き
9.　ちちぶ（埼玉県）	産直、ご当地グルメ（おっきりこみ、みそポテト、秩父コロッケ、たい平カレー、そば）、秩父の水
10.八王子滝山（東京都）	新鮮な野菜がたくさんある。近くの牧場のミルクでつくったソフトクリーム。TOKYO X豚まん

■H30 重点道の駅（関東）

【地方創成の核となる拠点】

しょうなん（千葉県柏市）	○道の駅を「都市部と農村部とを繋ぐエントランスパーク（入口）」とし，「集客」「販売」「地域の情報発信」を行う ○道の駅に「地域の主要産業である農業を振興」させる機能を強化 ○道の駅で「来訪者の地域交流」を促進する機能の強化
いたこ	○ＤＭＯと連携しスポーツツーリズムの取組を通じ、道の駅を拠点とした周辺市への観光の周遊化を図り、インバウンド 観光の効果を広域的に活性化させる ○風景街道の利用拠点と道の駅を双方向で誘導させ、地域内でも面的に観光振興を行う ○平常時はもとより、災害時においても、子育て世代の安心と安全を応援する

■重点道の駅

【全国モデル】

もてぎ （栃木県茂木町）	○「道の駅」を核とした６次産業化 ○地域のにぎわいの拠点 ○地域の防災拠点 ○ふるさと納税の推進
川場田園プラザ （群馬県川場村）	○農業プラス観光 ○地域のゲートウェイ
とみうら （千葉県南房総市）	○「道の駅」を核とした６次産業化 ○地域固有の観光資源をパッケージ化し、観光ニーズを呼び込み ○地域の伝統・文化の継承、交流のための取り組み

【ゲートウエイ型】

〔インバウンド観光〕

那須高原友愛の森 （栃木県那須町）	○国際観光地として外国人観光客対応に向けた機能強化
こうざき （千葉神崎市）	○町の資産である発酵文化を「道の駅」を核として世界に発信
（仮称）つる （山梨県都留市）	○地域伝統野菜である水掛菜等の加工品開発による６次産業化 富士山地域のインバウンド観光の推進

〔移住〕

上野 （群馬県上野村）	○人口約 1,300 人の 16%がＩターン者であり、村の課題である移住窓口を設置するなど道の駅を中心に移住・雇用対策を展開

〔観光総合はなし〕

【地域センター型】

〔産業振興〕

常陸太田 （茨城県常陸太田市）	○体験圃場施設としてトマトハウス整備や地場産品を活用し体験・交流 ○全国でも生産量の少ないカリフローレ・ぷちピーなどの洋野菜の地産地消及びブランド化推進

〔地域福祉〕

つどいの郷むつざわ	○「スマートウェルネスタウン」の中核拠点
両神温泉薬師の湯 （埼玉県小鹿野町）	○町が「道の駅」を地域福祉の拠点として位置付け ○高齢者が集う生きがいづくり・交流の場を形成 ○集落から「道の駅」への高齢者の移動手段を確保
しもにた （群馬県下仁田町）	○買い物困難者への宅配サービス提供、子育てサポート、公共交通バスの結節点化などによる「小さな拠点」の形成
季楽里あさひ （茨城県常陸太田市）	○基幹病院等と連携し「医食農同源」をテーマに豊富な地元農水産物を活用したメニュー開発など地産地消を推進

〔交通拠点・防災は関東はなし〕

■新しい道の駅（関東）

みのりの郷東金 （千葉県東金市）	○物産販売○カフェ＆レストラン○みのりキッチン（ジェラート）○緑花木市場（千葉県最大級）いちご狩り（12 月中旬～1 月中旬）	平成 26（2014）年
清川 （神奈川県清川村）	○小さい道の駅○2 階建て○1 階：野菜、特産品、お土産売り場○２階：食堂、工芸品、休憩室	平成 27（2015）年 11 月
常陸大宮～かわプラザ～ （茨城県常陸大宮市）	○直売所○加工室○フードコート○レストラン○ジェラート＆スムージー○BBQ○公園・農園付き○デザイン重視	平成 28（2016）年 3 月
常陸太田 （茨城県常陸太田市）	○１品オーダー＋ビュフェ（生野菜や総菜）のレストラン○名産ネギを使ったラーメンやたこ焼き等○ジェラート○そば○大型遊具○トマト栽培	平成 28（2016）年 7 月
ましこ （栃木県益子町）	○ましこのコンシェルジュ（観光案内） ○ましこのごはん ○道の駅オリジナル商品（通販） ○デザイン重視・高級志向	平成 28（2016）年 10 月
つる （山梨県都留市）	○田園風景に調和する木造建築 ○都留文科大学連携地形 ○地産地消レストラン ○デザイン重視	平成 28（2016）年 11 月
木更津うまくたの里 （千葉県木更津市）	○地元名産品 2000 点 ○地元契約農家の野菜、果物 ○行列店の新グルメ	平成 29（2017）年 10 月
尾瀬かたしな （群馬県片品村）	○かたしなキッチン○村民食堂（地の物や旬なもの）○デザイン重視 ○展望テラス○足湯○公園	平成 29（2017）年 7 月
いちかわ （千葉県市川市）	○イタリアを意識（メルカート、トラットリア）○情報コーナーとトイレの合体 ○デザイン重視	平成 30（2018）年 7 月
なんぶ （山梨県南部町）	○特産品「南部茶」の創作グルメ（茶そば、おいなり茶ゃん）、スイーツ○山梨の名産品○デザイン重視・高級志向	平成 30（2018）年 7 月
グランテラス筑西 （茨城県筑西市）	○北関東最大級○複合型○フードコート ○物産販売○リラクゼーションルーム○芝生広場○BBQ○スラックライン○ドッグラン	令和元（2019）年 7 月
元気あっぷむらたかねさわ （栃木県高根沢町）	○温泉施設のリニューアル ○第 3 セクター廃業 ○指定管理者公募	令和 2（2020）年 4 月予定

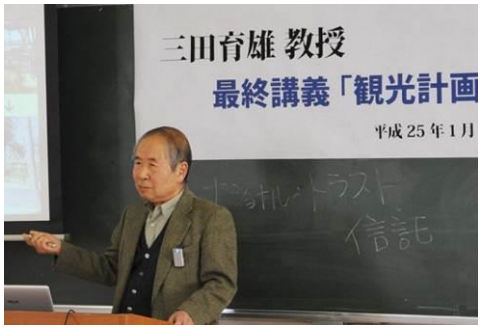
参考資料２

■道の駅視察箇所について

〔案１〕①川場田園プラザ＋②ららん藤岡
大規模農村型、大規模都市型の人気の２つの道の駅　川場は全国モデルの重点道の駅

①川場田園プラザ（群馬県川場村）

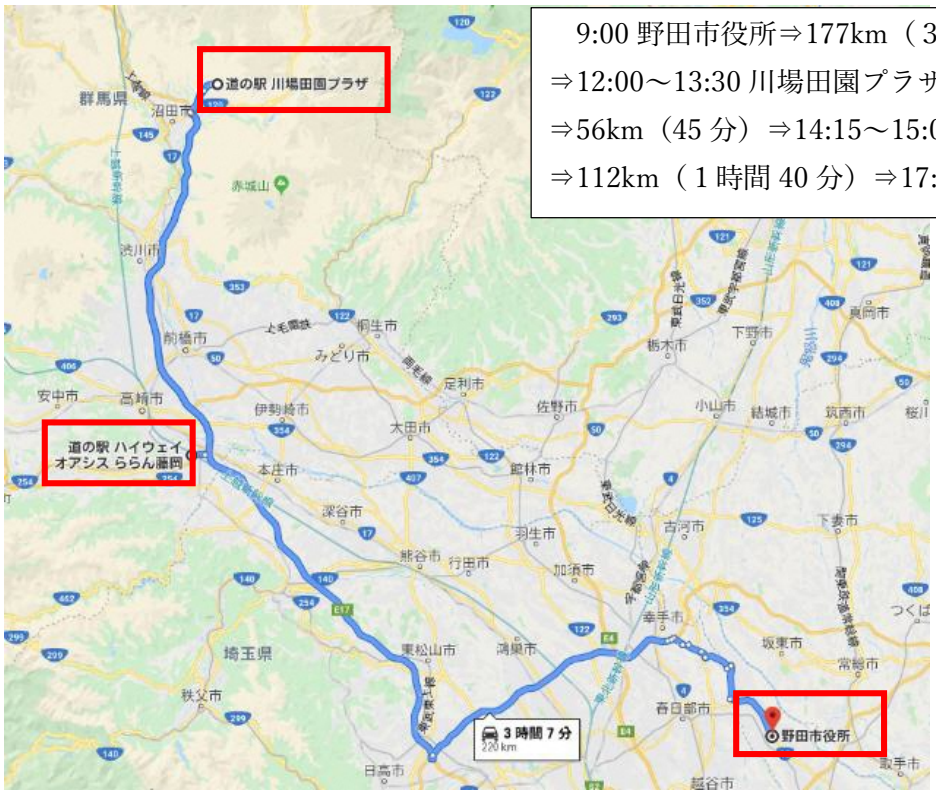
・重点道の駅　全国モデル
・日系プラスワン　家族で一日遊べる道の駅　東日本第１位
・じゃらん道の駅ランキング 2018　関東４位
・道の駅における農畜産加工品の製造・販売
・計画者で初代駅長の三田育雄氏（計画策定および初代駅長）による説明セット可



三田育雄氏プロフィール
1962 年　東京大学農学部林学科卒業
1964 年　東京大学生物系大学院林学専修課程修了（林学修士）
1964 年-1966 年　V.H.ピンクニーJr.設計事務所（米）
1966 年-1968 年　北海道庁（百年記念事務局など）
1969 年　(株)ラック計画研究所代表取締役社長
1993 年　東北芸術工科大学デザイン工学部環境デザイン学科教授
1993 年　(株)田園プラザ川場代表取締役
2006 年　長野大学環境ツーリズム学部教授
2007 年　(株)田園プラザ川場取締役会長

②ららん藤岡（群馬県藤岡市）

・じゃらん道の駅ランキング 2018　関東６位
・ハイウエイオアシス（高速道路と一般道の両方から入場できる）
・総合的道の駅・テナント多数（飲食、物産、ギャラリー、洋蘭展示、イベント広場、水遊び場、遊園地、公園）



9:00 野田市役所⇒177km（３時間）
⇒12:00～13:30 川場田園プラザ
⇒56km（45 分）⇒14:15～15:00 ららん藤岡
⇒112km（１時間 40 分）⇒17:00 野田市役所

〔案２〕①ひたちおおた黄門の郷　＋　②常陸大宮～かわプラザ～
大規模総合型の新しい２つの道の駅　常陸大宮は地域振興をテーマとした重点道の駅

①ひたちおおた黄門の郷（茨城県常陸太田市）

・平成 28 年 3 月オープン　総合型の道の駅
・レストラン：パスタ，魚料理，肉料理 の中から 1 品選び、ビュッフェコーナーで生野菜や惣菜，石窯で焼いたナポリピッツァ，カレー，コーヒー，デザートなどが食べ放題。
・フードコート：名産のネギを使ったファーストフード、手打ちそば、ジェラート。
・農産直売所、加工所、和菓子、ベーカリー、ケーキ、コンビニ、イベント広場、大型遊具

②常陸大宮～かわプラザ～（茨城県常陸大宮市）

・平成 28 年 7 月オープン　総合型の道の駅
・レストラン：ステーキ、そば、うどん、カレー
・フードコート：ステーキ、そば、らーめん、カレー、牛丼、定食、あゆの塩焼き、コロッケ、メンチカツ、ジェラート
・直売所（奥久慈ナス、奥久慈ネギ、果物、えごま油、洋野菜)、加工室（あゆの塩焼き、おにぎり、フライドポテト、総菜)、加工室売店
・多目的室、調理実習室、赤ちゃんの駅
・テラス（久慈川眺望)、イベント広場、公園、農園、シバザクラ

9:00 野田市役所⇒112km（1 時間 45 分）
⇒10:45～11:30 ひたちおおた⇒19km（30 分）
⇒12:00～13:30 常陸大宮⇒102km（ 1 時間 30 分）
⇒15:00 野田市役所

〔案３〕①グランテラス筑西　＋　②道の駅しもつま　＋　③ましこ
最新の大規模総合型、標準型、小規模デザイン重視型の異なる３タイプの道の駅

①グランテラス筑西（千葉県筑西市）

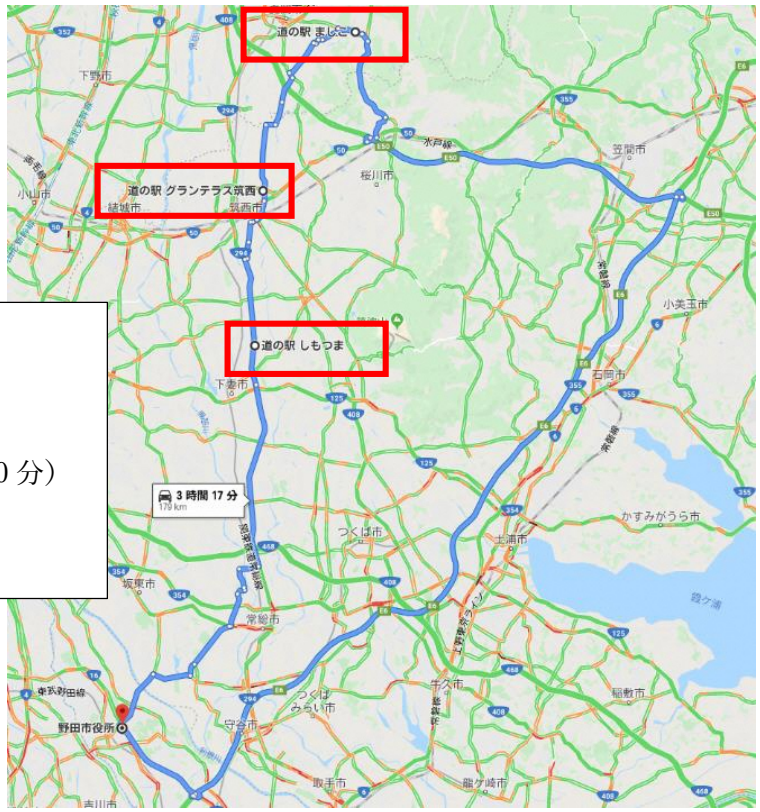
・東日本最大級　複合型ハイブリッド道の駅
・最新道の駅（令和元年７月オープン）
・立ち寄りグルメ・カフェ（お菓子、スターバックス、ベーカリー、お総菜、和食レストラン、ラーメン、そば、ジェラート、ブロマージュ、ハム＆ソーセージ）、農産物販売所、お土産（特産品、工芸品、雑貨）
・各種催し物、芝生広場、遊具、ドッグラン、バーベキュー、本格的なスラックラインなど
・観光案内所、ローソン、リラクゼーションルーム、野外ステージ、多目的室・調理室

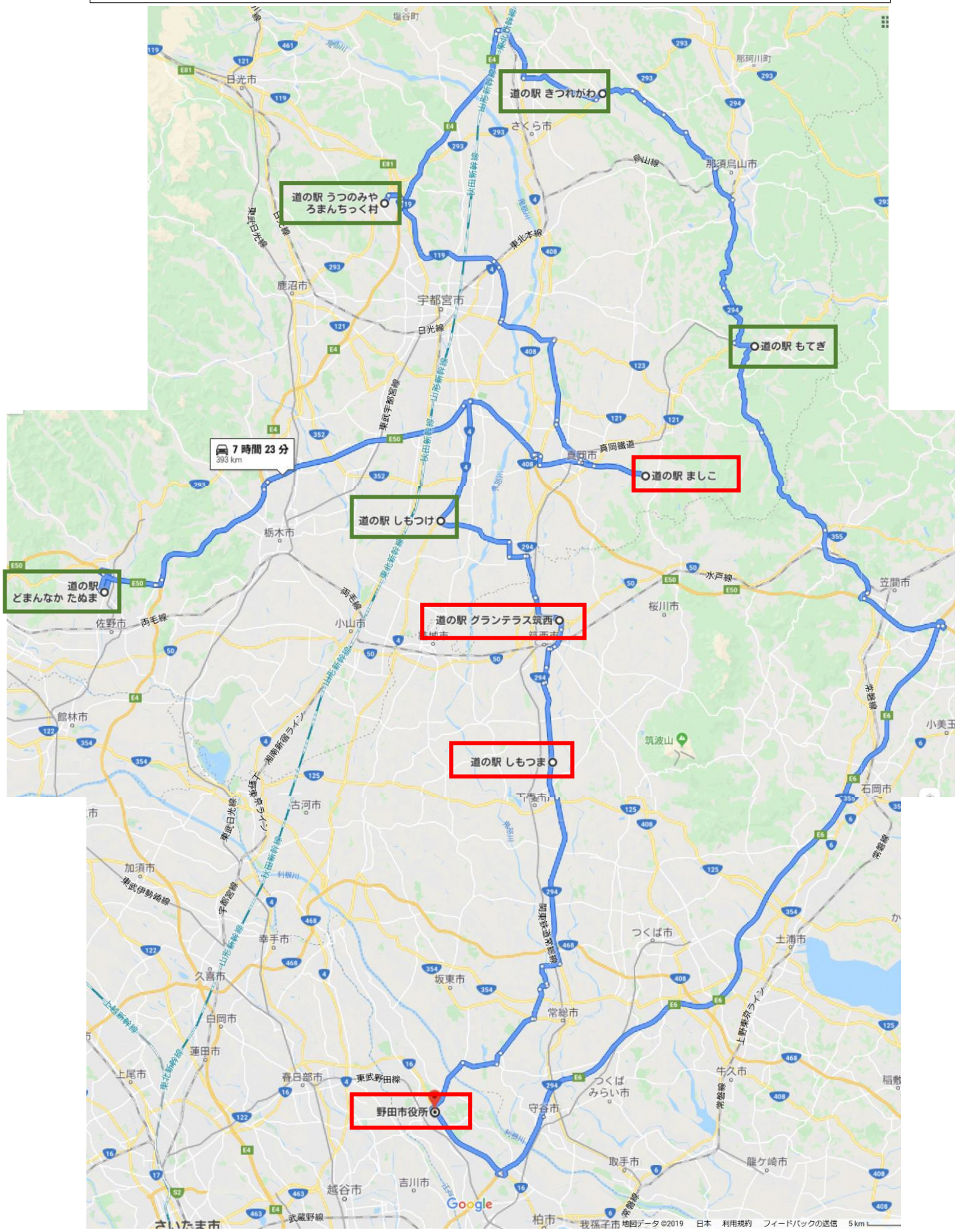
②道の駅しもつま（茨城県下妻市）

・大きめの標準的な道の駅
・農産物直売コーナー、お食事処（特産豚の豚丼、ソースカツ丼等）、手打ちそば（ちたけ汁つけそば）、下妻食堂（中華そば、トンカツなど）、ベーカリー、特産品販売（ビール、納豆、梨福）、コンビニ、イベントコーナー、花木売場、宝くじ売場、納豆工場

③道の駅ましこ（栃木県益子町）

・比較的新しい道の駅（平成 28 年 10 月オープン）コンパクトな道の駅
・卵かけご飯（500 円）、ましこのごはん定食（1480 円）など地域食材の提供（値段高め）
・地元農産物販売＋農畜産加工品（ピクルス、ジャム、ハム等）
・ましこコンシェルジュ
（観光案内、定住相談窓口、
レンタサイクル）



ましこ＋グランテラス筑西＋しもつま
9:00 野田市役所⇒110km（1 時間 30）
⇒10:30～11:30 ましこ⇒17km（25 分）
⇒12:00～13:30 グランテラス筑西⇒13km（20 分）
⇒14:00～15:00 しもつま⇒38km（1 時間）
⇒16:00 野田市役所

〔参考〕案３の周辺には見所のある道の駅が集積しており、多様な見学ルートを設定することができる。